

2月の園だより

2023年 1月 26日発行
名古屋柳城短期大学附属豊田幼稚園

「チコちゃんに叱られる」という人気番組があります。先週の放送で「嘘をつくのは、他人と自分の心は違うということを知っているからだ」ということを言っていました。検証の場面で3歳児と4歳児が出てくるのですが、大きな違いが見られるのです。個人差はあるでしょうが、子どもたちは、このようにして成長していくのだと改めて気づかされました。



最近、いろいろなところでお話をさせていただいています。うちの幼稚園は、子育て支援センター機能を求められている「認定こども園」ですから、幼稚園でも積極的にそういう機会を作ることが本来の姿だと思いますが、コロナ感染等のリスクを考えると躊躇してしまいます。申し訳なく思います。

先日は、神戸で行われた「学校の未来を考える会」に呼ばれ、尼崎市長らと対談してきました。今度の日曜日には高橋交流館で、来月には、企業経営者を相手にお話してきます。

対象は様々ですが、共通して伝えているのは「教えない教育のススメ」です。人を育てるときには、「余計なお世話」や「おせっかい」は逆効果、という内容です。簡単に言えば「教えるよりも体験させよ」「教えるより考えさせよ」ということです。

「自ら考え 自ら判断し 自ら決定し 自ら行動する」

私が、教育のめざす人の姿だと考えていることです。ところが、教師をはじめ、多くの大人がこれを阻害する活動を「教育」と称してしていることが多いのです。

子どもたちは、「自分でできる」ことに大きな喜びを感じます。これは園児でも同じです。子どもたちが、わくわくし、生き生きと活動しながら、自分で考え、判断し、決定し、行動できるような環境を作ることがとても大切だと思っています。答えを急ぐあまり、どうしても私たちが教えてしまいがちですが、ちょっと待つだけでも変わってきます。新大河ドラマではありませんが、「どうする？」と本人の意思を問うことが大切なのかもしれませんね。

あと少しで、今年度も終わります。あわただしい毎日が続きますが、少しでもゆとりをもって、そして笑顔で過ごせたらと思います。



2022年度の年主題：つながって～今、わたしを生きる～

2月のテーマ	月のねがい	
いっしょに	0歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者と一緒に祈ろうとする ・友だちの存在を身近に感じ関わり合う ・外気に触れながら冬から春に向かう自然の中で身体を動かす
	1・2歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から神さまに祈ろうとする ・保育者や友だちにも思いがあることに気づく ・全身を使ったり、手指を十分に使って遊ぶ
響きあって	3歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・喜びをもって礼拝を守り、自分から賛美や祈りをしようとする姿が見られる ・子ども同士のつながりが出てくる。遊びを通して心を響かせ合う経験をする ・庭の木々の芽の変化や鳥の声に気づき、保育者や友だちと一緒に季節の移り変わりをを感じる
	4・5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・神さまは一人ひとりに違う賜物をくださっていることを認め合い、それを受けとめ共に過ごせるようにと祈り合う ・友だちとの交わりや取り組みがおもしろく、「また明日ね」という期待が続く ・寒さの中にも春が訪れていることを五感で感じる
聖句	ここに愛があります。(ヨハネの手紙Ⅰ 4章10節)	

2月の予定

マークの説明…T=体操

日	月	火	水	木	金	土
			1 T年中・年少	2	3	4 2023年度 入園説明会 (幼児)
5	6	7	8 生活発表会 リハーサル A (写真撮影)	9 生活発表会 リハーサル B (写真撮影)	10 移動動物園	11 祝 建国記念の日
12	13 2023年度 入園説明会 (乳児)	14	15	16 生活発表会 A (通常保育)	17 生活発表会 B (通常保育)	18
19	20 子どものための コンサート	21 T年長	22 感謝礼拝 (年少・年中)	23 祝 天皇誕生日	24 誕生会	25
26	27 卒園感謝礼拝 (年長) ※お弁当(幼児)	28				